

ここまで進んだ 日技新発展『7』プラン

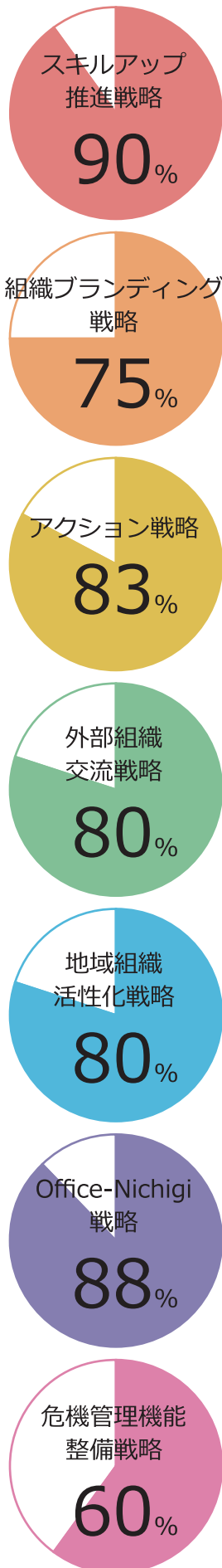
4年間（2014～2017年度）の進捗状況

基本戦略

具体的施策

達成割合

これまでのトピックス



生涯研修事業の社会的有用性に向けた取り組み	100
生涯研修事業等の細分化による研修の振興	100
経験豊かな会員による「スキルアップ教室」の開設	80
卒前実技教育セミナーの開設に向けた取り組み	75
歯科技工技術、機材の研究・開発に関する表彰及び助成制度の構築	90
歯科技工所管理者資格制度等の体制づくり	90
歯科技工士の社会的認知促進等のための国民向け広報活動の展開	90
「会章」、「ロゴマーク」等の積極的な活用による社会アピールの促進	90
「デンチャーマーケティング」事業等の調査研究と実施する地域組織支援	85
「歯科技工所常備録（DL ファイル）」の活用推進	20
次世代の歯科技工士をめざす若者を増やすためのキャンペーン活動	90
日技新発展『7』プランの実行と目的達成	80
懸案事項解決のための「総合政策審議会」の設置	100
歯科技工所に対する付加価値基準の具現化と認定制度等の仕組みづくり	90
安定した組織運営のための対象別対策チームの設置	85
会員増強実行体制の確立	60
各国・地域歯科技工士組織との交流強化	100
開発途上国への歯科技工技術支援の展開	75
歯科公益3団体の実務担当者との交流促進	80
歯科公益3団体共同事業の創設に向けた調査研究	60
医療関係従事者団体との交流、連携の模索	80
公益事業促進を目的とした支援協力者との連携	80
本会と地域組織のIT 連絡網構築と積極的な活用	80
地域組織事業の推進と支援のための体制づくり	100
地域組織合同事務センター開設の検討	75
本会と地域組織の役割分担の明文化	50
届出歯科技工所データの適正な管理と活用	90
スマートカードの導入による会員情報の一元化	100
グループウェアによる情報共有密度の強化	100
ファイルの共有化とペーパーレス化の推進	100
過去資料のデータベース化と管理システムの構築	80
各事業部門の事業実施マニュアルの整備	50
効率的な事務局運営のための環境整備	100
本会機能のバックアップ体制の確保	60
危機管理指針と各種マニュアルの作成	60
災害時における日技対策本部と地域組織の連携構築	50
災害時の行政及び関係団体との連携構築	60
災害支援ボランティア活動の調査研究と情報収集	70

スキルアップ教室については、先行して開催している地域組織に対しアンケート調査を実施した。歯科技工所管理者資格制度等の体制づくりとして「認定歯科技工所管理者制度」の策定を進めており、2017年度に基準案を作成し理事会承認を得た。

市民公開講座の開催、ロゴマークの活用を継続して行っている。歯科技工士を目指す若者を増やすための取り組みとしては、『歯科技工のおもしろさ』の普及を継続している他、歯科技工士需給に関する基礎研究に取り組んでいる。

歯科技工所認定制度の仕組みづくりとして「認定基準歯科技工所制度」の策定作業を進めており、2017年度に基準案を作成し理事会承認を得た。対象別対策チームの活動としては、女性活躍推進委員会を設置し全国6カ所で開催した。

ベトナム国立中央歯顎顔病院のスタッフに対する研修、技工室改修のための参考図面提供等を行った。国内においては、13の医療、福祉、介護関連団体による「医療福祉介護関連団体連絡協議会」が発足した他、歯科三会の間で実務担当者による検討会の開催が合意された。

組織拡充事業支援金制度や教育研修推進事業助成金制度の活用を促進している。本会と地域組織の役割分担の明文化については、それぞれの事業を整理するとともに効率的な事業展開に向けた研究を進めている。

生涯研修カード、グループウェア、オンラインストレージ等の継続的な活用により、引き続き業務効率向上と情報共有強化を進めている。また、効率的な事務局運営のための環境整備として歯科技工士会館1階の改修工事を行った。

災害時の役職員連絡網と対策本部設置マニュアルを策定した。また、クラウドを活用したバックアップ体制の検討を始めた。行政や関係団体との連携、情報収集としては、災害医療対策協議会やJIMTEF災害医療研修コースへの参加を継続している。